

## 平成 30 年度 第 2 回花巻新渡戸記念館運営協議会会議録

日時：平成 31 年 2 月 28 日(木)

場所：花巻新渡戸記念館事務室

### 出席者

- 委員 木村清且会長(花巻市文化財保護審議会副会長)、内館勝人会長職務代理者(矢沢地域振興会理事)、熊谷るり子(花巻市地域婦人団体協議会事務局)、齊藤洋美(国際ソロプチミスト花巻会長)、平塚正隆(花巻観光協会専務理事)、福盛田 弘(花巻芸術文化協会副会長)、堀合徳身(花巻史談会会長)  
(欠席委員なし)
- 事務局 市川清志生涯学習部長  
花巻新渡戸記念館 嶽間澤茂館長、菊池喜一副館長、中島明子主査

### 会議の顛末

#### 【菊池副館長】

本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

本日は7人の委員の方全員が出席しております。よって、資料の花巻新渡戸記念館管理運営規則第9条第2項の規定によりまして、委員の半数以上が出席していることから、会議が成立していることを報告申し上げます。

また、本日の会議の傍聴希望者がいないことも、あわせて報告いたします。

それでは、開会に当たりまして当館の嶽間澤館長より開会の挨拶を申し述べます。

#### 【嶽間澤館長】

お忙しい中、出席いただきまして本当にありがとうございます。

それでは、これより平成30年度の第2回花巻新渡戸記念館運営協議会を行います。

#### 【菊池副館長】

生涯学習部の市川部長より御挨拶申し上げます。

#### 【市川部長】

皆様こんにちは。

きょうは2月28という日でありまして、非常に忙しいところだと思っておりますが、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。

新渡戸記念館の今年度の状況報告をして、来年度に向けての予定をお話ししながら御意見をいただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

市議会の3月議会がきょう開会し、議会の承認も受けたことから、3月1日より藤原忠雅元建設部長が新しい副市長になりますので、紹介させていただきます。

一般質問が来週ありますが、来年度の予算を審議する予算委員会がございます。その委員会で来年度の事業を確定するというようなこととなりますけれども、今後について皆様方から御意見を賜ればと思っておりますので、きょうは、忌憚のない御意見をいただければ、と思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

協議

**【菊池副館長】**

次に、資料10ページをごらんください。花巻新渡戸記念館管理運営規則第8条の第2項の規定によりまして、木村会長が会議の議長となるということになってございますので、これから木村会長に進行をお願いしたいと思います。

**【木村会長】**

それでは暫時、議事の進行を務めさせていただきます。木村清且と申します。それでは、議事（1）の平成30年度事業及び利用状況等の報告につきまして、事務局から報告願います。

（中島主査・菊池副館長が資料に基づき、平成30年度事業報告について説明を行う。）

**【木村会長】**

ありがとうございます。事業報告と利用状況について説明がございました。ここでもう少し、内容を知りたいとかいろんな質疑がございます方は、発言をよろしく願います。

**【齊藤委員】**

移動研修の公募による参加者ですけれども、12名っていうのは、非常に少ない数字かなと思われませんが、小型バス利用にしてももったいない話だなと思ひましてね。

**【中島主査】**

20名募集したのですが、近場になりますと参加者が少なくなる時があります。昨年実施した二戸市や三戸町は抽選するくらいでした。

**【齊藤委員】**

早目に皆さんにお知らせするとか、何かの方法をちょっと考えたほうがいいんじゃないかと思ひます。

入館者数ですけれども、団体は観光に非常に頼ってる部分があるんじゃないのかなと思ひますが、市内には団体が多くあるので、いろいろ呼びかけする。教育部門なんかでも声をかけて、もう少し何か工夫してはいかがでしょうか。

**【平塚委員】**

（花巻観光協会では）31年度でPRに力を入れるという計画をしておりますので、その部分では少し貢献できるのかなと考えております。

なお、一点お伺いしたいのですが、花巻市で土沢線の利用者が停留所で降りた場合の減免措置対象者の人数を教えてくださいたいと思ひます。

**【菊池副館長】**

県交通の路線バスで土沢線の利用者に対しまして、バスの運転手が市施設の無料利用券を配布して、バス停付近の市施設に来ていただければ無料で見ていただけるというシステ

ムで、平成30年8月から実施しています。

対象施設は宮沢賢治記念館、童話村、市博物館そして当館の4施設になります。当館の利用者数は、8月と9月が各23人、10月が18人、11月が9人、12月が7人、1月が11人、2月が4人となっており、免除者2,075人に含まれています。

**【木村会長】**

(2)の平成31年度の事業計画に移ります。事務局から説明願います。

(菊池副館長・中島主査が資料に基づき、平成31年度事業計画について説明を行う。)

**【木村会長】**

平成31年度の事業計画についての説明がありました。これについて質疑を承ります。

**【嶽間澤館長】**

昨年までは、5月3日と10月第1土曜日に無料公開ということで、市民の方々に周知活動のために無料公開でイベントを行っていますが、昨年5月3日のイベント終了後に参加いただいている島保育園や矢沢こども園の園長さんから、5月3日の実施日を動かさないものか、との相談を受けたところです。保護者からはゴールデンウィークの連休に子供を行楽に連れていけないこと。もう一つは、保育園側にとっても、演目は年長者が演じるのですが、4月に年長組になるわけです。そうすると、イベント参加まで1カ月くらいしかなく十分な練習時間が確保できないことから、5月3日の実施日を再考していただきたい、という申し出がありました。そこで、今年は10連休で様々なイベントが重なりますので、31年度は5月25日に変更していますが、来年度以降もその方向で考えていきたいと思っています。

**【福盛田委員】**

花巻顕彰会では、佐藤昌介に関するいろんな資料を作って、本にする予定です。

私ども芸術文化協会としても、12月に館長の御配慮をいただき、新渡戸記念館で研修をしたところですが、機会があるごとに地元の歴史を学ぶということを進めていきたいと思っていますので、よろしく御指導していただきたいと思います。

**【嶽間澤館長】**

毎年、市内の小中学校の校長室におじゃまして当館のパンフレットを持参・説明して、当館を利用していただけるようにPRしています。先生たちにまず知ってもらうことが重要なのかなど、思っています。引き続き、周知活動に努めてまいりたいと思います。

**【内館委員】**

新渡戸稲造を中心に出会った人々について調べて、中学生でも分かりやすいような書き方で冊子にして配布できるようなものを作っていただければいいんじゃないかな、と思います。

【嶽間澤館長】

市内小中学校30校に昨年度、以前に当館で作成したものに新渡戸稲造の生涯を分かりやすく紹介した紙芝居があるのですが、それを基にリーフレットを作成し届けました。稲造は小学校5年生の道徳の教科書にも出ていることから、各学校の児童・生徒にも見てほしいと思って届けたもので、リーフレットを欲しいと言ってくれた学校は4校でした。

それから、いま提言いただきましたが、新渡戸に関わる周りの人々など、私の構想の中には来年か再来年のことですが、新渡戸さんはこういう人なんだよ、ということを宮部金吾や内村鑑三をはじめ佐藤昌介も書いているので、そういった人々を紹介していきたいと考えています。

【木村会長】 他にございますか。

【全委員】 なし

【木村会長】 それでは、議事(3)その他に移ります。事務局から何かありますか。

【菊池副館長】 ありません。

【木村会長】 皆さんからは何かございますか。

【全委員】 なし

【木村会長】 以上で議事を終了します。

【菊池副館長】

ご協議、ありがとうございました。以上をもちまして平成31年度第2回花巻新渡戸記念館運営協議会を終了いたします。